

令和元年6月20日

令和元年度大規模災害時の支援協力連絡会（熊毛ブロック）議事録

場所：鹿児島県 熊毛支庁舎 2F 会議室

期時：令和元年6月20日（木） 13:30～15:00

参加者：熊毛支庁

（屋久島事務所）

建設部長	神宮司 泰弘	建設課長	椎原 賢次
建設課長	一ノ宮 一浩		
技術補佐	片平 眞一		
道路建設係長	中園 伸由起		
技術主幹兼道路維持係長	稲 卓郎		
技術主幹兼河川砂防係長	堀之内 毅		
港湾空港係長	福永 幸博		
建築係長	松山 紀文		

事務局

技術調整係長	谷口 徳哉	土木技師	東 颯之介
--------	-------	------	-------

測量設計業協会

会長	安永 幸信	連絡責任者（副）	立本 博志
副会長、連絡責任者（正）	篠原 誠	連絡責任者（副）	酒匂 一俊
連絡責任者（正）	鎌田 一彦		

地質調査業協会

理事長	岩田 秀樹	熊毛ブロック班長	城ヶ崎 勝美
副理事長	今村 貢	熊毛ブロック副班長	貴島 康弘
理事	川邊 信也		
理事	梶原 影友		

会議資料

熊毛支庁

1. 資料 1 令和元年度の連絡体制（熊毛支庁建設部）
2. 資料 2 熊毛支庁管内の公共土木施設概況（種子島地区）
3. 資料 3 熊毛支庁管内の公共土木施設概況（屋久島地区）
4. 参考資料 協定書の写し・実施要項・各文書様式

測量設計業協会

1. 資料 1 令和元年度の連絡体制（鹿児島県測量設計業協会）
2. 資料 2 災害支援協力のフロー図
3. 資料 3 大規模災害時における被害状況調査の支援協力に関する協定（経緯）

地質調査業協会

1. 資料 1 大規模災害時における地質調査等の支援協力に関する協定経緯等
2. 資料 2 大規模災害時における地質調査等の支援協力要請提出物様式
3. 資料 3 大規模災害時における地質調査業協会の緊急連絡先・支援本部連絡体系図

議事録

1. 開会挨拶

- | | |
|------------------------|-------------|
| (1) 鹿児島県 熊毛支庁 | 建設部長 神宮司 泰弘 |
| (2) 公益社団法人 鹿児島県測量設計業協会 | 会 長 安永 幸信 |
| (3) 公益社団法人 鹿児島県地質調査業協会 | 理 事 長 岩田 秀樹 |

2. 令和元年度の連絡体制について

- | | |
|------------------------|--------|
| (1) 鹿児島県 熊毛支庁 | 資料 1 |
| (2) 公益社団法人 鹿児島県測量設計業協会 | 協会資料 1 |
| (3) 公益社団法人 鹿児島県地質調査業協会 | 協会資料 3 |

3. 熊毛支庁における公共土木施設の状況について

- | | |
|-------------------------|------|
| (1) 種子島地区（熊毛支庁建設部建設課管内） | 資料 2 |
| (2) 屋久島地区（屋久島事務所建設課管内） | 資料 3 |

4. 支援協力について

測量設計業協会

- | | |
|--------------------|--------|
| (1) 災害支援協力のフロー図 | 協会資料 2 |
| (2) 支援協力に関する協定（経緯） | 協会資料 3 |

地質調査業協会

- | | |
|---------------------|--------|
| (1) 支援協力に関する協定経緯等 | 協会資料 1 |
| (2) 支援協力に基づく地質調査等報告 | 協会資料 2 |

5. 質疑応答

【測量協会より】

- ・ 先月の屋久島での豪雨の際要請を待っていたが、何かできる事はなかったでしょうか。

【支庁より】

- ・ 災害支援に関する協定書第2条の対象となる大規模ではなかった為、今回支援要請を行いませんでした。
また今回の場合、そこまで大きな災害は発生していない。
種子島では雨量 300mm を超えた場合は危ない。

【測量協会より】

- ・ 災害時の業務で迅速な対応が必要な場合は、随契をお願いします。

【支庁より】

- ・ 一定のルールがあり、県には入札監視委員会などのチェック機能もあり、全県との統一性も考慮して本課とも協議していきます。

【測量協会より】

- ・ 管理技術者の資格要件の緩和をお願いします。

【支庁より】

- ・ 全県との統一性もあるので本課とも協議します

【測量協会より】

- ・ 市町村に対して最低制限価格を設定するよう指導をお願いします

【支庁より】

- ・ 土木事業連絡会などで連絡しており、種子島管内ではすべて設定したと聞いている。

状況写真



